

## 2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 ] 担当教諭名 [ 太田 亮平 ] (3年B組 40名)

相手国・地域 [ アメリカ ]

海外学校名 [ Scales Mound Junior High School ] 担当教諭名 [ Karen Kelly ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	道徳	自己を知る・みつめる	9
	特別活動	アートマイルプロジェクト(国際理解・多文化共生)	11
	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト(国際理解・多文化共生)	16

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Harmony(ハーモニー)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	「虹」 虹は、雨の後に出てくるものであるとし、10代の自分たちが抱えている悩みも明るい将来のためだという気持ちを虹で表現した。壁画の下側にはお互いの国の悩みや苦勞を描き、上側には楽しいこと、うれしいことを描いた。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
相手の国のことを調べるというのではなく、10代の不安や悩み、苦勞にスポットライトを当てた。まずは自分たちの今の悩みに向き合い、クラスの中で小集団に分かれ悩みをシェアした。その後、アートマイルの相手校であるアメリカの同世代の学生はどうだろうかと想像をふくらませ、スカイプやフォーラムを用いてお互いに確認し合った。国は違えど同じような悩みで苦勞しているということに気づくことができた。ほかには、お互いの国特有の悩みも出てきて、相手校の国への関心を高めていた。	スカイプを利用できたが、会話したり、やり取りをしたりという生徒の数が限られてしまった。 アートマイルプロジェクトに費やす授業時間の確保。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイプの時に特に感じたようだが、英語の発音の良さや、単語の難しさなどが大事なのではなく、自分が何を伝えたいか、相手が自分に何を伝えようとしているかという気持ちが大事であるということ。</li> <li>・相手校からのメールの内容を班で読み合わせたときに、英語の上手な生徒とそうでない生徒が教え合っている所は、良い協働学習ができていた。</li> <li>・実際に同世代の学生とメールでやりとりをしたり、お互いの学校紹介をしたり、スカイプで話したりする中で、見た目や肌の色、髪の色、言語が違うのは誰の目にも明らかであるが、お互いの考えていることや現在の悩みや困っていることは、同じであると気づけて、世界をより身近に感じることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私自身も生徒と同じように、アメリカ人に対してステレオタイプな印象(明るい、おおらか、どんなことも楽しめる)を少なからず抱いていたが、悩みをシェアした時に、アメリカ人も日本人と何ら変わらないのかと感ずることができた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介レター作成</li> <li>・学校紹介ビデオ(動画)作成</li> <li>・テーマ“Harmony(ハーモニー)”のブレインストーミング</li> <li>・アートマイル事務局からのアートマイルプロジェクトについての説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えた英文を書くことが難しそう生徒が多かった。</li> <li>・動画撮影は、何を撮るか班で話し合う段階からとても楽しそうに活動できていた。</li> <li>・「“Harmony”で想像できることはなにか」というテーマで、“ワールドカフェ”を用いて、どんどん発想を広げていった。</li> </ul>	道徳2 学活2 総合10
共有 テーマ学習	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの学校のことや今の悩みについて、スカイプを使ってコミュニケーションをした。</li> <li>・相手校からの自己紹介カードを読む。</li> <li>・フォーラムに返事や新しい情報をアップする。</li> <li>・自分の今持っている悩みや解方法を分析し共有する。</li> <li>・合唱曲“手紙”の歌詞の意味をとらえ紹介する。</li> <li>・相手校からの返事を翻訳する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイプを英語で行うことは分かっていたが、いざアメリカ人を前にスカイプが始まると緊張する生徒が多かった。ただ、途中からは慣れてきて、相手のことをもっと知りたいという気持ちと自分たちのことを知ってもらいたいという気持ちが強くなっていった。</li> <li>・相手校からの自己紹介カードを読んだり、相手校からのメールを翻訳する作業は、大変そうだったが、班で相談しながら行ったので、朗らかな雰囲気で行うことができた。</li> </ul>	道徳3 学活3 総合3
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁面デザイン	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に訴えるメッセージを共有する。</li> <li>・図案を考え共有する。</li> <li>・図案の下書き、相手校への返事、新しい情報のアップ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで、相手校の生徒とどんなやり取りをしていたかを思い出しながら、世界に訴えるメッセージをどうするか、班で考え、最後にはクラスで意見を出し合い一つにまとめた。</li> </ul>	道徳2 学活2 総合1 放課後

創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壁画の色塗り。</li> <li>・日本らしい年賀状の作成。(壁画と同封して郵送するため)</li> </ul>	クラス40人全員で作業することを目標に、色を塗る部分を分担しながら、進めていった。	道徳1 総合6 放課後
評価 振り返り 自己評価	12月 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期全体の振り返りの中で、アートマイルプロジェクトの振り返りも行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国をまたいで、何かを作成するという初めての経験に感動している生徒が数多く見られた。</li> </ul>	学活 1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手校とやり取りをしていく中で、相手に日本の文化を紹介するとなったとき、正しい日本文化を調べようとし、自文化への理解度は自ずと深まった。
異文化を理解する力	5	相手校のこと、相手の国のことをメールやスカイプを通して、知りたいという気持ちが様々な活動から伝わってきた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ビデオ作成、フォーラムへのアップ作業などスムーズに行うことができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	英語が得意でない生徒も、得意な生徒と助け合いながら、相手の考えていることを読み取ろうと努力していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	相手にフォーカスを当てる部分は少なかった。
主体的に考え行動する力	4	自分にできることは、何かを自分で見つけて行動できていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	英語翻訳や壁画色塗りなどでは、しっかり役割分担し協力することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	相手校とのやり取りの中で感じたことを誰にも分かりやすい言葉にすることが難しかったが、やりきった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	良い作品だと感じ取れたが、それ以上のことをどこまで考えれていたかは分からない。